

【ニュースレター】

新小学1年生のお父さん・お母さん必見！ 小学生が巻き込まれる犯罪の傾向と、親子で注意したい防犯ポイント

子供の犯罪被害件数は減少傾向。しかし、心身に深刻な傷を受ける罪種の被害は減っていない
 小学生の連れ去り被害件数は未就学児童の約1.6倍、強制わいせつは約7倍
 誘拐被害に遭った子の約半分は騙されて連れ去られた～防犯ブザーだけでは防げない

小学校入学を機に、子供を預かってもらえる時間が短縮したり、子供の交友関係や行動範囲が広がるといった、生活の変化に伴い、防犯上注意しなければいけない点が変化します。ALSOKでは、この春、小学校へ上がる子供の保護者に注意してほしい防犯上のポイントをまとめました。

子供が巻き込まれる悲しい事件が後を絶ちません。被害者にならないためには、親だけでなく、子供にも防犯意識をしっかりと身につけさせる必要があります。防犯意識を身に付けさせることは、怖がらせたり、不安に感じさせるのではなく、何が危険でどうしたらその危険から身を守ることができるのかを自分で判断する力を養うことです。

トピックス

1. 統計データから読み解く、子供が巻き込まれる犯罪の傾向……………P2

- 子供の被害件数の総数は減少傾向だが、連れ去りや強制わいせつなどは横ばい
- 小学生の犯罪被害認知件数は、未就学児童より増加！
「略取誘拐」で約1.6倍、「強制わいせつ」では約7倍
- 被害発生場所は道路上が最多。次いで「住宅」での被害が多い
- 知っておきたい略取誘拐の実態

2. 親子で注意したい 6つの防犯対策……………P5

1. 持ち物に名前を書くときは見えない場所に
2. 防犯ブザーは「通学用」と「外出用」の複数個を用意する
【コラム】防犯ブザーを選ぶ際の4つのポイント
3. 防犯ブザーを持つときの3つの約束を教える
4. 町に潜む危険な場所を、親子で確認し、話し合う
5. 通学、外出時の約束「いかのおすし」を教える
6. 留守番前の約束「いいゆだな」を教える

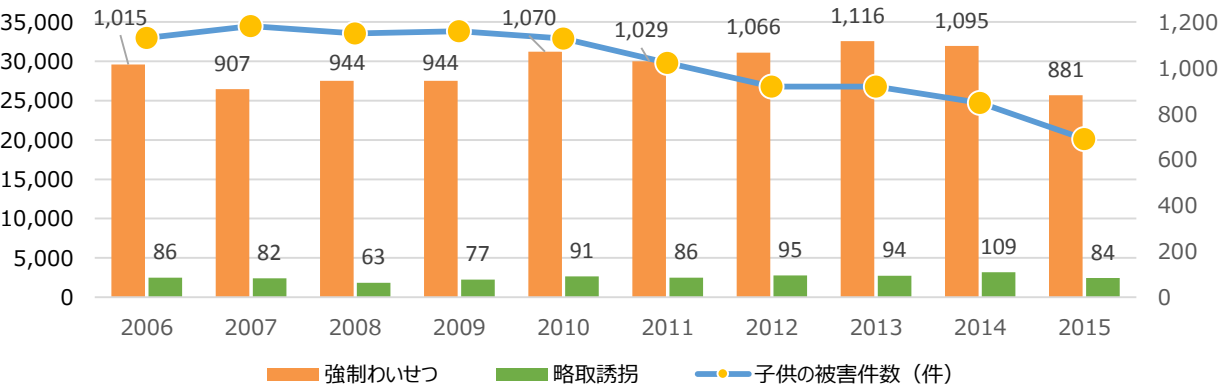
3. おすすめの商品・サービス……………P9

1. 子供の被害件数の総数は減少傾向にあるが、連れ去りや強制わいせつなどは横ばい

「平成28年警察白書」によると、2005年に13歳未満の子供が被害者となった刑法犯の被害件数は、2001年の39,934件をピークに減少傾向にあり、2015年は20,106件と、前年より4,601件（18.6%）減少しました。

しかし、罪種別で見ると、「強制わいせつ」や「略取誘拐」など、子供の心身に深刻なダメージを与える罪種においては、2015年においては減少が見られたものの、過去10年を通じてほぼ横ばいの状態となっています。

子供（13歳未満の者）の被害件数及び罪種別被害件数の推移（平成18年～27年）



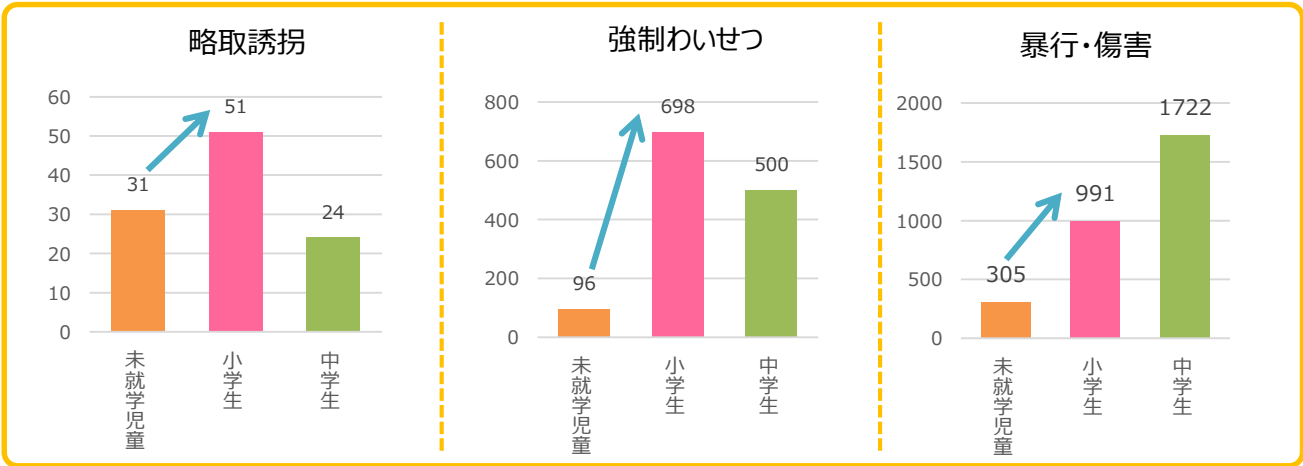
出典：警察庁「平成28年警察白書」（2016年）をもとに作成

2. 小学生の犯罪被害認知件数は、未就学児童より増加 「略取誘拐」で約1.6倍、「強制わいせつ」では約7倍

小学校への進学を機に、子供がひとりで行動する機会は大幅に増加します。新入学生の保護者にとっては、わが子が犯罪に巻き込まれてしまわないかと不安を感じる時期ではないでしょうか。

実際に警察庁の統計では、**小学生は未就学児童と比較して、「略取誘拐」で約1.6倍、「強制わいせつ」では約7倍の被害**が確認されています。入学を機に「自分で自分の身を守る」意識を持たせておくことは非常に重要であるといえるでしょう。

罪種別 被害者の職業別 認知件数（平成27年）

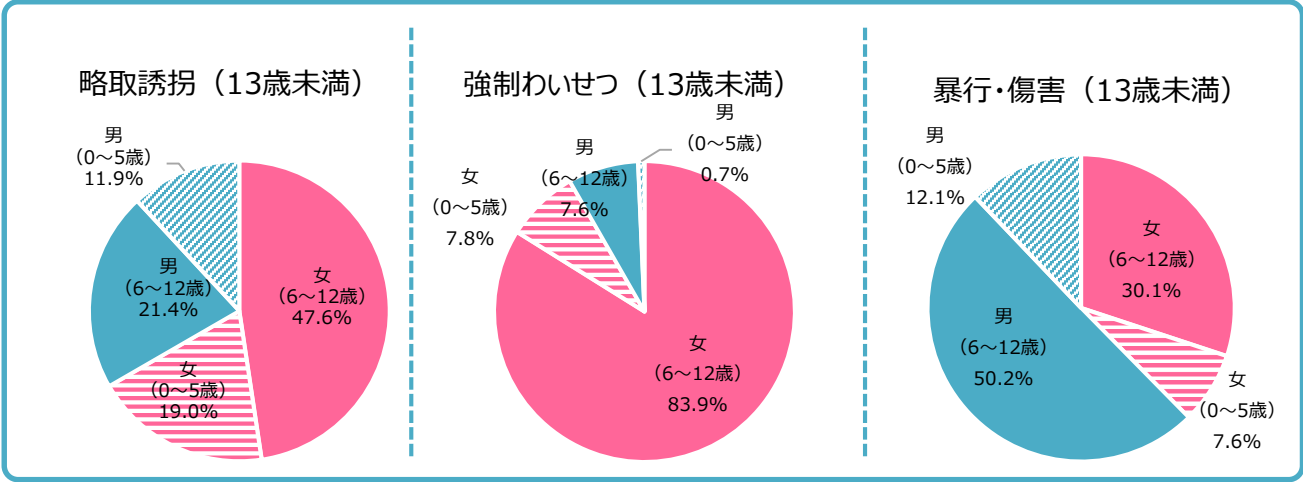


出典：警察庁「平成27年の犯罪」（2016年）を基に作成

統計データから読み解く、子供が巻き込まれる犯罪の傾向

なお、被害者（13歳未満）の年齢・性別を罪種別に見てみると、「略取誘拐」と「強制わいせつ」では女の子の被害が、比較的母数の多い「暴行・傷害」では男の子の被害の割合が多くなっています。

罪種別 被害者の年齢・性別 認知件数（平成27年）



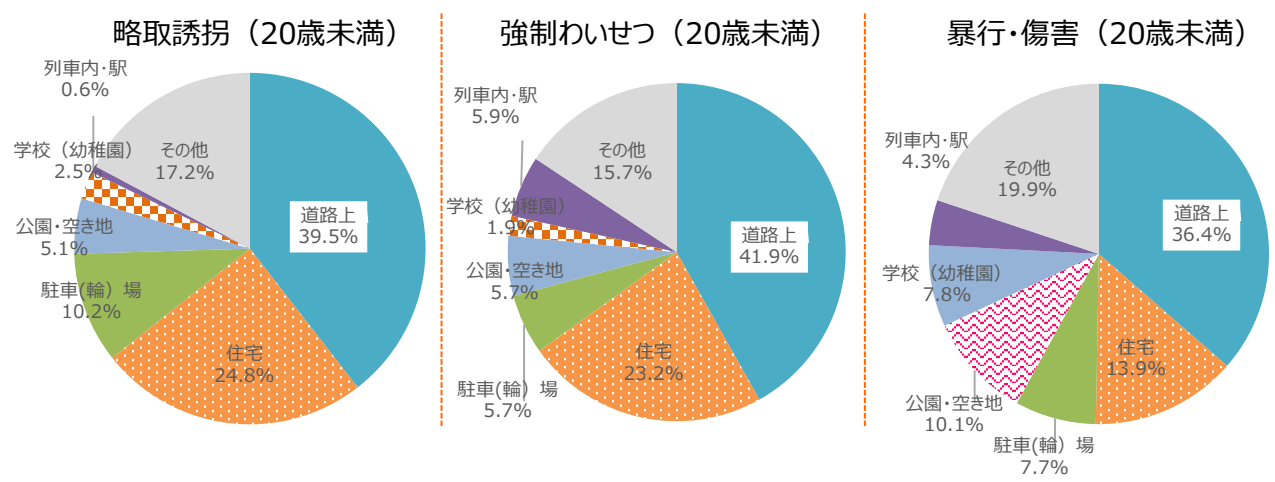
出典：警察庁「平成27年の犯罪」（2016年）を基に作成

3. 被害発生場所は道路上が最多。次いで「住宅」での被害が多い

少年（20歳未満）が被害に遭う割合が高い場所を罪種別にみると、下記のとおりとなっています。いずれも「道路上」での被害が目立ちますので、入学前には子供と一緒に通学路を歩いてみて、注意が必要な場所や、緊急時の避難場所などについて教えておきましょう。**特に犯罪者が好む場所と言われているのが、「入りやすい場所」かつ「見えにくい場所」**です。誰にも怪しまれることなく子供に接近でき、犯行に及んでも目撃されにくい場所、さらに助けを求めても誰にも声が届かない状況にあるときは、特に注意して行動するよう子供に教えておきましょう。

通学路の危険箇所をチェックし、子供と共有しておくことが大切。自宅での被害も多いので、留守番にも注意が必要。

罪種別・場所別被害発生件数（平成25年）



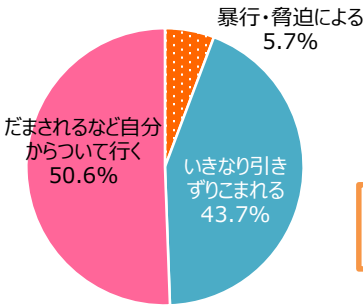
出典：警察庁「平成25年の犯罪情勢」（2015年）を基に作成

4. 知っておきたい略取誘拐の実態

子供の心身ばかりか、その後の人生にも深刻な影響を及ぼし、時に尊い命を奪うこともある「略取誘拐」事件。前述したとおり、過去10年間を見ても被害が減っているとはいえないのが現状です。

こちらは2003年に警察が発表した126件の略取誘拐事案を分析した統計の一部ですが、ここからどのような対策が必要なのかを見ることができます。

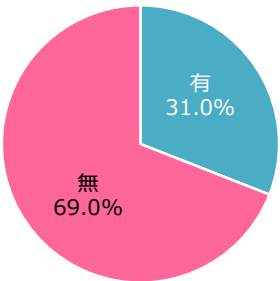
略取誘拐事案 既遂の要因（2003年1/1～10/15に発生した既遂の87件）



被害者の約半数は自分の意思でついて行ってしまった。

防犯ブザーを持っていたとしても使おうとしなければ意味がないので、「だまされない子」に育てる教育が重要

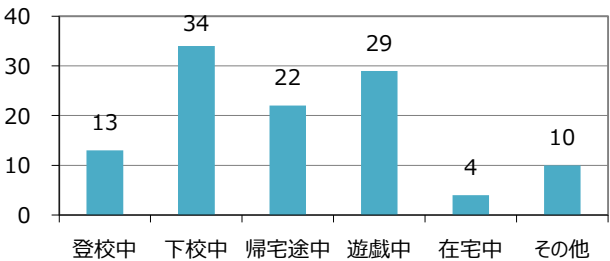
略取誘拐事案 発生の状況 同行者の有無（2003年1/1～10/15に発生した126件）



子供が1人にいるときほど標的になりやすい。

なるべく1人で外出しない（させない）ようにする
1人にいるときほど周囲に注意を払うように教える

略取誘拐事案 被害に遭ったときの行動（2003年1/1～10/15に就学児が被害に遭った事案108件）



通学時のみならず、その他の状況下でも多くの被害が発生している

いかなる時も防犯ブザーなどを所持する習慣を！

出典：警察庁「子どもを対象とする略取誘拐事案の発生状況の概要」（2003年）
※15歳以下の子供が被害者となった事案

2 親子で注意したい 6つの防犯対策

1. 持ち物に名前を書くときは他人から見えない場所に
2. 防犯ブザーは「通学用」と「外出用」の複数個を用意する
3. 防犯ブザーを持つときの「3つの約束」を教える
4. 町に潜む危険な場所を、親子で確認し、話し合う
5. 通学・外出時の約束「いかのおすし」を教える
6. 留守番前の約束「いいゆだな」を教える

1. 持ち物に名前を書くときは他人から見えない場所に

「知らない人についていってはいけない」と分かっている、自分の名前呼び掛けられることで警戒心が薄れてしまう場合があります。そのようなリスクを減らすためにも、**持ち物に名前を書く場合は他人から見えない裏側に書く**など、簡単に名前を知られてしまわない工夫をしましょう。

また、過去には玄関先に置かれた傘などの物品から子供の名前を知られてしまった事例があります。家の周りにも子供の名を知る手がかりとなるような物を置かないよう注意しましょう。

2. 防犯ブザーは「通学用」と「外出用」の複数個を用意する

放課後や休日の外出など、通学時以外の状況下でも犯罪に巻き込まれてしまうケースがあるため、防犯ブザーは常に持ち歩く習慣をつけておくのがよいでしょう。

1つの防犯ブザーを、出かけるたびにランドセルから取り外して使用する方法だと、面倒なうえに、外し忘れや着け忘れが多くなってしまいがちです。**常時ランドセルにつけておく「通学用」と、それ以外の「外出用」の複数個を用意しておくのがよいでしょう。**

防犯ブザーを選ぶ際の4つのポイント

●子どもでも鳴らしやすいか

いざという時にすぐに鳴らせないと意味がありません。子どもの力でも無理なく鳴らせる引き紐タイプか、押しボタンタイプがおすすめです。

●十分な音量が出るか

1メートル離れた位置から計測して85dB以上の音量が出るものであれば十分です。ただし、電池が消耗してくると音が小さくなるので、月に一度は保護者がチェックするようにしましょう。

●見えやすく 使いやすい所に装着できるか

ブザーを装着していることが一目でわかることで、犯罪抑止効果が期待できます。使いやすさに加え持ち忘れにくいことを考慮するなら、ランドセルのベルトに装着しやすいタイプがよいでしょう。ブザー装着用金具のついていないランドセルには、後付け可能なブザー専用の吊りベルトを使えば装着が可能です。

●壊れにくい

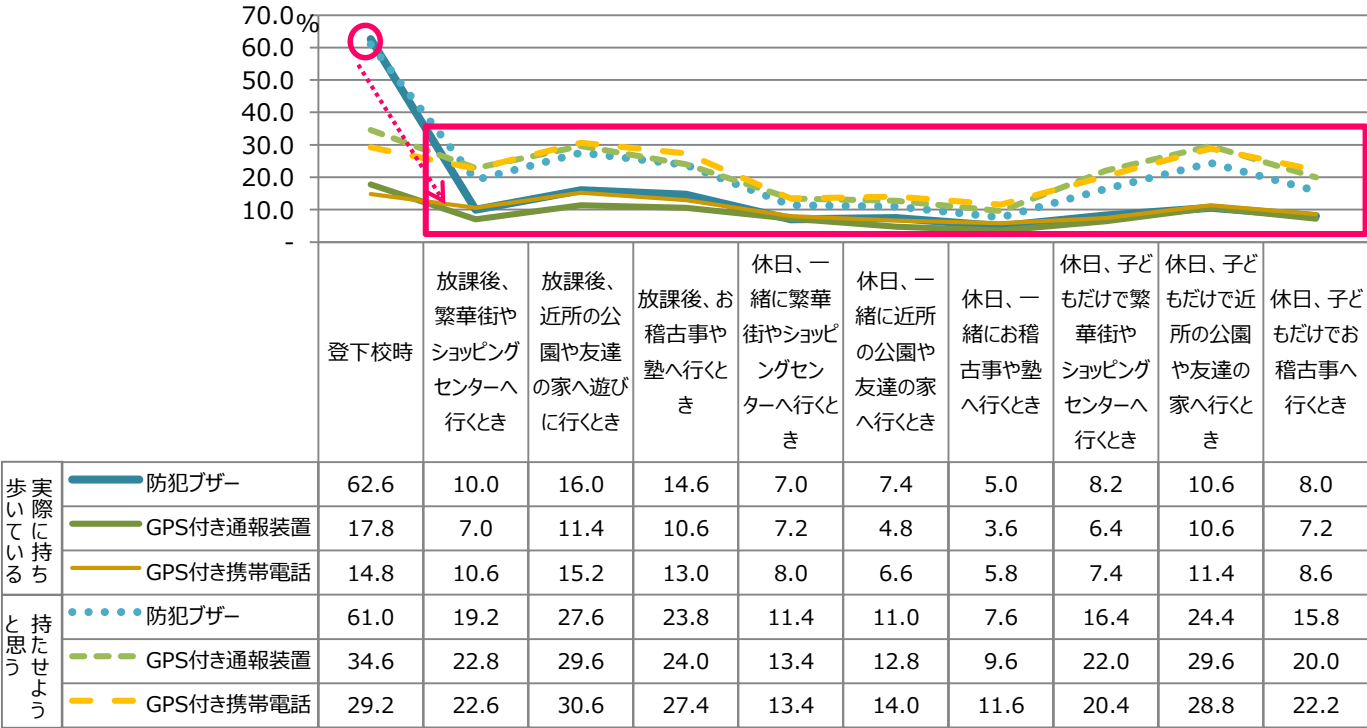
雨に濡れたり、落下させてしまうことでブザーが壊れてしまう場合があります。できるだけ防水性能、耐衝撃性能の備わったブザーを選ぶとよいでしょう。

2 親子で注意したい 6つの防犯対策

参考資料

2015年7月に小学生の子供を持つ働く母親を対象に実施した、ALSOK「小学生と母親の安全に関する意識調査」では、登下校時に防犯ブザーを持ち歩いている子供は62.6%でしたが、帰宅後や休日にも持ち歩くとすると、ぐっと数が減少し、最も所持率の高かった「放課後、近所の公園や友達の家に遊びに行くとき」でも、16.0%にとどまりました。

Q.あなたは、どんな場合・シーンで子供に、防犯ブザー/GPS付き通報装置/GPS付き携帯電話を持たせていますか。また、持たせようと思いますか。（複数回答、回答者500人）



3. 防犯ブザーを持つときの3つの約束を教える

防犯ブザーを持つとき、使うときには、以下の3つの約束を守るように教えましょう。
また、緊急時に適切に使えるよう、持ち始めるときはもちろん、定期的に使い方の練習をしておきましょう。

防犯ブザーを持つときの、3つの約束

- ① すぐに鳴らせる場所につけておく
- ② 遊びでは絶対に鳴らさない
- ③ 鳴らしたらすぐ逃げる



4. 町に潜む危険な場所を、親子で確認し、話し合う

例えば、人があまり通らない薄暗い道や、木が生い茂った公園など、＜まわりから見えにくい場所＞で＜誰もが入りやすい場所＞は、子供を狙う人物がいても怪しまれず、助けを呼んでもわかりにくいため、危険な場所と言えます。また、駐車場では、無理やり車に連れ込まれたり、車にひかれてしまう危険もあります。

こういった場所で一人で遊んだりしないように、実際に親子で子供の行動範囲を歩きながら確認し、もしそういう場所を通らなければならないときは、どういうことに注意すればよいか、どこに逃げればいいのかを話し合っておきましょう。



※「いかのおすし」は、警視庁が考案した防犯覚え言葉です。

5. 通学、外出時の約束「いかのおすし」を教える

いか

どんなに優しくそうな人でも、たとえどんなことを言われても

知らない人についていかない。

の

知らない人の車には絶対にのらない。

無理やり連れ込まれることもあるので、話しかけられたら2メートル以上離れる。怪しいと思ったら、車の進行方向と逆の方向に逃げる。

お

おおごえを出して助けを呼ぶ。

危険なときは大きな声で「たすけて！」と叫ぶ。または、防犯ブザーを鳴らす。

す

安全なところまですぐ逃げる。

コンビニなどのお店や110番の家など、一番近くにある明るくて大人がいるところに向かって逃げる。

し

すぐにおうちの人に知らせる。

危険な目に遭ったり、怖いことを見たら、すぐに保護者に知らせる。保護者と話ができないときは、近くにいる大人に知らせる。

6. 留守番する前の約束「いいゆだな」を教える

低学年のうちから留守番を任せる機会は少ないかもしれませんが、留守番中の子供を狙った犯罪も少なくありません。被害を防ぐためのポイントは、犯行者に「家に保護者がいるかもしれない」と思わせることです。そのためには、学校や外出先から家に帰るとき、すなわち「留守番する前」から気をつけておくべき約束があります。ALSOKでは、この約束を「いいゆだな」という覚え言葉にして小学生に教えています。

い

えのカギを見せない

これから留守番することがわかってしまうので、家に着くまではカギは人から見えないところにしまっておく。

い

えのまわりをよく見る

家の近くに人が隠れていないか、または尾行されていないか、家に入る前に確認する。

ゆ

うびん受けをチェック

郵便受けがいっぱいだと、空き巣が家に誰もいないと思って入ってきてしまうかもしれない。留守番前に取り込むようにする。

だ

れもいなくても「ただいま！」

家の中に家族がいるように見せかけ、子供だけで留守番していると悟られないようにする。

な

かに入ったらすぐ戸締り

カギが開いていたら、悪い人が入ってきてしまうかもしれない。玄関だけでなく、家全体の戸締りを確認してから留守番を開始する。

小学校低学年くらいだと、カギの使い方に不慣れなため、玄関扉の開錠に手間取ってしまう子が多いものです。玄関先で手間取っていると、これから留守番するということがばれてしまったり、背後が無防備になってしまったりと、防犯上よろしくありません。留守番を任せる前には、カギの開け方の練習をしておくこともおすすめします。

まもるっく

「まもるっく」は屋外での見守りを実現したセキュリティサービスです。
トラブル時の駆けつけはもちろん、事前に連絡先を登録することで家族間での安否確認を行うことも出来ます。

POINT 1
**ボタン1つで
緊急通報可能**

すぐに来て！

体調不良、不審者に遭遇した場合は真ん中のボタンを押すだけ。必要に応じてガードマンが駆けつけます。(有償)

POINT 2
**スマホやPCによる
位置検索が無料**

どこにいるの？

現在位置や設定した時刻の位置情報の取得等の位置情報検索が何回でも無料です。

POINT 3
**ハンズフリーによる
通話機能**

大丈夫？

ハンズフリーで予め登録した番号との着信通話が可能です。

まもるっくの料金プランは2種類。位置情報検索は回数無制限で料金を気にせずにご利用いただけます。

お買い上げ
プラン
月額 **1,100** (税別)
初期設定費用: 4,500円 (税別)
契約期間: 2年
機種代金: 21,500円 (税別)

レンタル
プラン
月額 **2,000** (税別)
初期設定費用: 4,500円 (税別)
契約期間: 2年

利用した場合に料金が
発生するサービス

かけつけ
料金 1回につき **6,000** 円 (税別) / 1時間
※延長高め最大3時間まで



ALSOKならではの「見まもり」「かけつけ」サービス(全国約2,400カ所の待機所から出動)



モバイルみまもりセキュリティ
まもるっく

防犯ブザー



防犯ブザー 防滴タイプ

音量: 90dB / 前方1メートル
重さ: 約37グラム (電池含む)
価格: 1,112円 (税別)
使用電源: アルカリボタン電池

(LR44または同規格のもの) × 3個

外形寸法: W50×D33×H50mm (突起部含まず)

付属品: アルカリボタン電池 3個、フック、ベルト、ストラップ、
名札シート



防犯ブザー用「ブザーつつりつり2」

防犯ブザーをランドセル背負いベルトの胸の辺りに付ける商品。中央に反射板がついており、夜道でも目立ちます。ベルトはマジックテープ式なので、おけいこ用かばんへの着脱も簡単にできます。

大きさ: 6×22センチ
色: 黄色、青
価格: 600円 (税別)

ネットワークカメラ

家庭用防犯カメラ
「IPカメラ(デイ&ナイト)
Viewla IPC-06HD」
ALSOKロゴ入り



サイズ: 100×65×21mm (130g)
接続方式: 有線・無線LAN対応
(b/g/n)
最大解像度: 1280×800(WXGA)
価格: 18,519円 (税別)

赤外線でも暗闇にも対応したメガピクセルカメラ(100万画素)。
無料の専用アプリを使えば、自宅のWi-Fi回線を通じ、いつでも、どこからでもスマートフォンなどで映像を確認することができます。

また、お子様の帰宅をセンサーが検知し、メールでお知らせすることもできます。
双方向通話機能があり、カメラとスマホ間で会話することも可能です。

専用ステッカーが付属します→
サイズ: 約9cm × 約7cm

